学校番号	315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『古典探究』　古文編・漢文編　　（数研出版）						
副教材等	新総合　図説国語（東京書籍）　体系古典文法　九訂版（数研出版）　体系古典文法学習ノート　三訂版（数研出版）　体系漢文　三訂版(数研出版)　　四訂版わかる・読める・解ける古文単語 key&point330（浜島書店）　大学入試国語頻出問題 1200　五訂版（いいずな書店）　新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ 2.5（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文も含め、我が国の古典文学に対する関心を持ち、時代を経ても変わらないもの（文学の主題）時代や国の違いによって変わっていくもの（文法、句法や語句、時代背景）を理解しながら、古典の世界に親しみましょう。有名な作品の冒頭文や有名な詩歌は覚えていきましょう。
・古典文法（用言、助動詞、助詞、係り結び、敬語）を理解し、古語の語彙量を豊かにすることによって、作品世界の理解を深め、古文を的確に読み取れるようになりましょう。古文では、省略されている助詞や主語、目的語などを補いながら、敬語等に注意して、主語の変化に気を付け、文脈を正確に読み取れるようになりましょう。そして登場人物の気持ちが理解できるようになりましょう。
・漢文では、覚えるべき文字（再読文字、返読文字、置き字、漢文特有の語句など）や書き下し文のきまりをしっかり覚え、句法を覚えていきましょう。
・予習として、必ず本文を音読してきましょう。そのうえで、古文では、意味の分かりにくい箇所の品詞分解をし、わからない古語を辞書で確認して授業を受けましょう。漢文では、書き下し文を自分で作り、わからない語句を漢和辞典で調べて授業を受けましょう。授業の後には、自分のノートで訳を確認し、覚えるべき語句や文法、句法を復習しておきましょう。できるだけたくさんの文章を読みましょう。
・演習問題をあらかじめ解いた上で授業を受け、知識の定着と文脈理解を深めましょう。
・提出物の期限は守りましょう。あとから復習しやすいように、自分の力で授業中にノートを完成させていきましょう。定期考査は、学習計画を立てて、自分のノートでしっかり学習して臨んで下さい。授業中の小テストも、準備をしっかりして受けるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解をより一層深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・道長の言動に対する評価の言葉を取り上げ、誰のどのような評価であったのかを整理する。 ・道隆・道兼・道長の人物像をまとめ、比較する。 ［教材］歴史物語/道長の剛胆（大鏡）	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	贈答歌について、それぞれの歌に込められた気持ちを説明する。 「同じ枝に……」の歌の「同じ枝」「ほととぎす」「声は変はらぬ」という表現がどういう意味を持って使われているか、考える。 ［教材］日記文学/薫る香に（和泉式部日記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・荊王と晏子のやり取りを的確に把握する。 ・晏子の人柄を対応やたとえ話から考える。 ［教材］故事/江南橘為江北枳	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・作者は和歌をどのようなものととらえているか、その本質と効用に分けて整理する。 ［教材］和歌・歌謡・俳諧/やまと歌は（古今和歌集仮名序）	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意し内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

一学期	俊恵は俊成の「夕されば……」の歌について、どういう点を批判しているのか読み取る。 [教材]評論/俊成自讃歌のこと(無名抄)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意し内容を的確に捉えている。 c:学習課題に沿って俊恵の主張を積極的に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・段落ごとにあらすじをまとめストーリーを理解する。 ・「初極狭～」の段落に述べられている村や村人の様子を整理する。 [教材]文章/桃花源記	a:漢文を読むために必要なきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文の特徴を踏まえ、漢文特有の表現に注意し内容を捉えている。 c:本文に描かれている村や村人の様子について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
二学期	・「行く春を……」の句について、尚白・芭蕉・去来はそれぞれどのように考えているか整理する。 ・「岩鼻や……」の句を、芭蕉・去来それぞれの解釈に従って現代語訳する。 [教材] 評論/行く春を・岩鼻や(去来抄)	a:古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようと工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・筆者は「わが師の心」をどのように受け取っているかまとめる。 ・筆者は「学問の道」をどのように理解し、どう対するのがよいと考えているかまとめる。 [教材]近世随筆/師の説になづまざること(玉勝間)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:粘り強く本文を読み、筆者の主張について理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・韓非子と法家思想について理解する。 ・登場人物につい明確におさえ、その展開を理解する。 [教材]思想/侵官之害(韓非子)	a:思想という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 b[読]:思想という文章の種類についてその特徴を踏まえるとともに、表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の思想について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し表現効果を考察する。 [教材]漢詩/日本の詩　梅花(菅原道真)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・文中から、光源氏に対する六条御息所の思いが読み取れる箇所をあげて、その心情を説明する。 ・「笹の隈に…」について、和歌集の引用がどのような効果を与えているか、調べてまとめる。 [教材]物語/車争ひ(源氏物語)	a:古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

	・文中の表現より菅原道真はどのような人物として描かれているか読み取る。 [教材]説話/菅原道真(古今著聞集)	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・「一県無復盗窃」について、県の人々が陳寔のどのような人柄に感銘を受けたのか考える。 [教材]逸話/梁上君子	a:古典を読むために必要な文法のきまりについて理解を深めている。 b:文章の種類を踏まて、古典特有の表現に注意して内容を捉えている。 c:県の人々が陳寔のどのような人柄に感銘を受けたかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
三学期	・本文中の和歌と漢詩に込められた道真の心情を整理する。 ・語り手は、時平と道真に対してどのような思いを持ちながら語っているのか話し合う。 歴史物語/道真と時平(大鏡)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくろひて書きて、うつろひたる菊にさし」て贈った作者の気持ちについて話し合う。 日記文学/「蜻蛉日記」藤原野道綱母	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]若の表現技法をもとに心情がどのように込められているのか捉える。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・「逢ふを待つ間に……恨みなるべし」や「さりともと……」の歌に込められた宮木の心情を考える。 ・勝四郎の心情の変化をまとめる。 [教材]近世小説/浅茅が宿(雨月物語)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度
	・本文に見られる鬼の特徴をまとめる。 ・宋定伯の知恵が読み取れる言動を整理する。 [教材]小説/売鬼	a:古典を読むために必要な文法のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を捉えている。 c:宋定伯の知恵が読み取れる言動について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物 レポート課題	ワークシート 振り返りシート レポート課題 授業態度

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　　)時間

・読むこと　…　(　105　)時間